

健康福祉委員会資料

(病院局関係)

1 所管事務の調査（報告）

(1) 令和6年度川崎市病院事業会計決算の概況について

資料1 令和6年度病院事業会計決算概況

参考資料 令和6年度川崎市病院事業会計決算（見込）の概況

病院局

令和7年7月24日

令和 6 年度

病院事業会計決算概況

病 院 局

1 令和6年度病院事業会計決算概況

○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、「川崎市立病院中期経営計画 2024-2027」に基づき、公立病院として地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供し、更なる経営改革と経営健全化を図りながら、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策を推進し、地域医療機関との連携を進めるなど、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

人口減少や少子高齢化の急速な進展により、持続可能な地域医療提供体制を確保することが地域において一層重要な課題となっている一方、病院の経営は、収入の根幹である診療報酬が物価高騰や人件費上昇に見合ったものになっていない中でも、コロナ禍後の社会変容による医療需要の変化、医療提供主体の病院から地域診療所や在宅への移行という受療動向の変化、医療の高度化といった病院経営に係る環境の急激な変化等への対応が求められるなど、非常に厳しい状況にあります。また、医師の働き方改革や、医療従事者の確保、情報セキュリティの強化等、様々な課題への対応も求められています。

川崎病院においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。また、増加する救急搬送やがん等の医療需要に対する医療機能の拡充や防災機能の強化等を目的とする川崎病院医療機能再編整備については、令和5年11月に着手した救命救急センター棟の新築工事を引き続き進めているところです。

井田病院においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療等を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組を進めるとともに、地域医療支援病院として、地域医療連携の取組を進めています。

多摩病院においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

○ 収支状況

病院事業全体では病院事業収益は 373 億 2,886 万 3,637 円、病院事業費用は 404 億 4,308 万 1,618 円となり、この結果、経常損益は 32 億 9,518 万 1,434 円の経常損失、純損益は 31 億 1,421 万 7,981 円の純損失となりました。

直営の川崎病院・井田病院(以下「直営 2 病院」という。)の病院事業収益は 351 億 4,768 万 9,362 円、病院事業費用は 390 億 6,694 万 8,500 円となり、経常損益は 37 億 4,233 万 5,172 円の経常損失、純損益は 39 億 1,925 万 9,138 円の純損失となりました。

指定管理者制度(利用料金制)のもとで運営されている多摩病院に関する病院事業収益は 21 億 8,117 万 4,275 円、病院事業費用は 13 億 7,613 万 3,118 円となり、経常損益では 4 億 4,715 万 3,738 円の経常利益、純損益では 8 億 504 万 1,157 円の純利益となりました。

○ 患者状況

入院患者は直営2病院では延 27 万 8,585 人(1 日平均 763 人)で、前年度に比べ 1 万 1,166 人の増となりました。多摩病院では延 10 万 8,790 人(1 日平均 298 人)で、前年度に比べ 8,767 人の増となりました。

外来患者は直営2病院では延 42 万 2,708 人(1 日平均 1,740 人)で、前年度に比べ 1 万 7,636 人の減となりました。多摩病院では延 21 万 2,605 人(1 日平均 790 人)で、前年度に比べ 1 万 4,474 人の増となりました。

○ 診療収益状況

入院収益は、直営 2 病院では 195 億 6,079 万 2,932 円で、前年度に比べ 10 億 409 万 5,687 円の増となりました。

外来収益は、直営 2 病院では 87 億 9,010 万 1,941 円で、前年度に比べ 2,194 万 5,677 円の減となりました。

なお、多摩病院については、指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。平成 24 年度からは利用料金制をとっております。

○ 主な建設改良

川崎病院では、救命救急センター棟新築工事のほか、照明設備改修工事等を実施しました。井田病院では、ナースコール設備改修工事を実施しました。

また、医療器械については、川崎病院と井田病院で、内視鏡下手術支援ロボット装置の更新等を行いました。

2 経営成績

(令和6年度決算)

(税抜き)

(直営2病院の内訳)

(税抜き)

◎ 病院事業合計

(単位:円)

川崎病院

(単位:円)

科目	金額
総費用	40,443,081,618
医療費用	38,101,846,554
医療外費用	2,038,927,754
特別損失	302,307,310
当年度経常利益	
当年度純利益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	37,328,863,637
医療収益	31,430,521,651
医療外収益	5,415,071,223
特別利益	483,270,763
当年度経常損失	3,295,181,434
当年度純損失	3,114,217,981
前年度繰越欠損金	16,330,684,273
当年度未処理欠損金	19,444,902,254

科目	金額
総費用	26,897,346,595
医療費用	25,384,159,886
医療外費用	1,251,359,046
特別損失	261,827,663
当年度経常利益	
当年度純利益	
前年度繰越利益剰余金	4,124,775,033
当年度未処分利益剰余金	2,048,226,284

科目	金額
総収益	24,820,797,846
医療収益	22,054,903,525
医療外収益	2,722,207,220
特別利益	43,687,101
当年度経常損失	1,858,408,187
当年度純損失	2,076,548,749
前年度繰越欠損金	
当年度未処理欠損金	

(1) 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

科目	金額
総費用	39,066,948,500
医療費用	36,962,306,406
医療外費用	1,816,487,967
特別損失	288,154,127
当年度経常利益	
当年度純利益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	35,147,689,362
医療収益	30,326,567,360
医療外収益	4,709,891,841
特別利益	111,230,161
当年度経常損失	3,742,335,172
当年度純損失	3,919,259,138
前年度繰越欠損金	15,097,637,495
当年度未処理欠損金	19,016,896,633

井田病院

科目	金額
総費用	12,169,601,905
医療費用	11,578,146,520
医療外費用	565,128,921
特別損失	26,326,464
当年度経常利益	
当年度純利益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	10,326,891,516
医療収益	8,271,663,835
医療外収益	1,987,684,621
特別利益	67,543,060
当年度経常損失	1,883,926,985
当年度純損失	1,842,710,389
前年度繰越欠損金	19,222,412,528
当年度未処理欠損金	21,065,122,917

(2) 多摩病院【指定管理者制度(利用料金制)のもとで運営】

科目	金額
総費用	1,376,133,118
医療費用	1,139,540,148
医療外費用	222,439,787
特別損失	14,153,183
当年度経常利益	447,153,738
当年度純利益	805,041,157
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科目	金額
総収益	2,181,174,275
医療収益	1,103,954,291
医療外収益	705,179,382
特別利益	372,040,602
当年度経常損失	
当年度純損失	
前年度繰越欠損金	1,233,046,778
当年度未処理欠損金	428,005,621

3 業務実績

(令和6年度決算)

◎ 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	707,763 人	701,293 人	△ 6,470 人
入院	267,419	278,585	11,166
外来	440,344	422,708	△ 17,636
(2) 1日平均患者数	2,543 人	2,503 人	△ 40 人
入院	731	763	32
外来	1,812	1,740	△ 72
(3) 診療収益	27,368,745 千円	28,350,894 千円	982,149 千円
入院	18,556,697	19,560,792	1,004,095
外来	8,812,048	8,790,102	△ 21,946
(4) 1人1日平均収益	38,669 円	40,427 円	1,758 円
入院	69,392	70,215	823
外来	20,012	20,795	783
(5) 入院患者実人数	19,858 人	20,359 人	501 人
(6) 1人平均入院日数	13.5 日	13.7 日	0.2 日

(直営2病院の内訳)

川崎病院

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	470,450 人	470,001 人	△ 449 人
入院	170,090	175,617	5,527
外来	300,360	294,384	△ 5,976
(2) 1日平均患者数	1,701 人	1,693 人	△ 8 人
入院	465	481	16
外来	1,236	1,212	△ 24
(3) 診療収益	19,783,578 千円	20,613,373 千円	829,795 千円
入院	13,615,824	14,220,991	605,167
外来	6,167,754	6,392,382	224,628
(4) 1人1日平均収益	42,052 円	43,858 円	1,806 円
入院	80,051	80,977	926
外来	20,535	21,714	1,179
(5) 入院患者実人数	13,973 人	14,243 人	270 人
(6) 1人平均入院日数	12.2 日	12.3 日	0.1 日

◎ 多摩病院 (指定管理者 報告値)

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	298,154 人	321,395 人	23,241 人
入院	100,023	108,790	8,767
外来	198,131	212,605	14,474
(2) 1日平均患者数	1,012 人	1,088 人	76 人
入院	273	298	25
外来	739	790	51
(3) 診療収益	9,557,404 千円	10,407,987 千円	850,583 千円
入院	6,574,016	7,199,008	624,992
外来	2,983,388	3,208,979	225,591
(4) 1人1日平均収益	32,055 円	32,384 円	329 円
入院	65,725	66,173	448
外来	15,058	15,094	36
(5) 入院患者実人数	8,632 人	9,447 人	815 人
(6) 1人平均入院日数	11.6 日	11.5 日	△ 0.1 日

井田病院

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	237,313 人	231,292 人	△ 6,021 人
入院	97,329	102,968	5,639
外来	139,984	128,324	△ 11,660
(2) 1日平均患者数	842 人	810 人	△ 32 人
入院	266	282	16
外来	576	528	△ 48
(3) 診療収益	7,585,167 千円	7,737,521 千円	152,354 千円
入院	4,940,873	5,339,801	398,928
外来	2,644,294	2,397,720	△ 246,574
(4) 1人1日平均収益	31,963 円	33,453 円	1,490 円
入院	50,765	51,859	1,094
外来	18,890	18,685	△ 205
(5) 入院患者実人数	5,885 人	6,116 人	231 人
(6) 1人平均入院日数	16.5 日	16.8 日	0.3 日

※ 多摩病院は利用料金制を適用しているため、診療収益は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

4 経営状況比較年次表

(令和6年度決算)

(税抜き)

(単位:千円、%)

◎ 病院事業合計

区 分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	決算額	前年度比較		決算額	前年度比較		決算額	前年度比較	
		増減額	率		増減額	率		増減額	率
病院事業収益 (1)	37,748,660	△ 2,278,453	△ 5.7	36,205,590	△ 1,543,070	△ 4.1	37,328,864	1,123,274	3.1
(一般会計繰入金)	(5,884,230)	(△ 66,155)	(△ 1.1)	(5,826,720)	(△ 57,510)	(△ 1.0)	(5,945,718)	(118,998)	(2.0)
医業収益 ①	29,198,219	2,002,176	7.4	30,518,820	1,320,601	4.5	31,430,521	911,701	3.0
診療収益	26,127,884	1,801,953	7.4	27,368,745	1,240,861	4.7	28,350,894	982,149	3.6
入院収益	17,714,328	1,147,283	6.9	18,556,697	842,369	4.8	19,560,792	1,004,095	5.4
外来収益	8,413,556	654,670	8.4	8,812,048	398,492	4.7	8,790,102	△ 21,946	△ 0.2
その他医業収益	3,070,335	200,223	7.0	3,150,075	79,740	2.6	3,079,627	△ 70,448	△ 2.2
医業外収益 ②	5,095,836	△ 1,236,302	△ 19.5	5,038,251	△ 57,585	△ 1.1	5,415,072	376,821	7.5
特別利益 ③	3,454,605	△ 3,044,327	△ 46.8	648,519	△ 2,806,086	△ 81.2	483,271	△ 165,248	△ 25.5

病院事業費用 (2)	36,427,421	1,815,456	5.2	36,997,767	570,346	1.6	40,443,082	3,445,315	9.3
医業費用 ④	34,158,934	1,731,334	5.3	34,771,898	612,964	1.8	38,101,847	3,329,949	9.6
給与費	16,569,074	446,414	2.8	16,628,886	59,812	0.4	18,731,222	2,102,336	12.6
材料費	7,535,844	695,551	10.2	7,955,245	419,401	5.6	8,475,082	519,837	6.5
経費	7,163,238	588,829	9.0	7,405,906	242,668	3.4	7,835,153	429,247	5.8
その他	2,890,778	540	0.0	2,781,861	△ 108,917	△ 3.8	3,060,390	278,529	10.0
医業外費用 ⑤	1,977,449	69,741	3.7	1,993,050	15,601	0.8	2,038,928	45,878	2.3
特別損失 ⑥	291,038	14,381	5.2	232,819	△ 58,219	△ 20.0	302,307	69,488	29.8

区 分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	決算額	前年度比較		決算額	前年度比較		決算額	前年度比較	
		増減額	率		増減額	率		増減額	率
医業損益 ①-④	△ 4,960,715	270,842	5.2	△ 4,253,078	707,637	14.3	△ 6,671,326	△ 2,418,248	△ 56.9

経常損益 (①+②)-(④+⑤)	△ 1,842,328	△ 1,035,201	△ 128.3	△ 1,207,877	634,451	34.4	△ 3,295,182	△ 2,087,305	△ 172.8
川崎病院	△ 307,771	△ 760,161	△ 168.0	△ 4,320	303,451	98.6	△ 1,858,408	△ 1,854,088	△ 42,918.7
井田病院	△ 1,878,424	△ 412,284	△ 28.1	△ 1,586,531	291,893	15.5	△ 1,883,927	△ 297,396	△ 18.7
多摩病院	343,867	137,244	66.4	382,974	39,107	11.4	447,153	64,179	16.8

純損益 (1)-(2)	1,321,239	△ 4,093,909	△ 75.6	△ 792,177	△ 2,113,416	△ 160.0	△ 3,114,218	△ 2,322,041	△ 293.1
川崎病院	1,305,343	△ 2,549,934	△ 66.1	△ 77,580	△ 1,382,923	△ 105.9	△ 2,076,549	△ 1,998,969	△ 2,576.7
井田病院	△ 667,419	△ 1,932,465	△ 152.8	△ 1,460,694	△ 793,275	△ 118.9	△ 1,842,710	△ 382,016	△ 26.2
多摩病院	683,315	388,491	131.8	746,097	62,782	9.2	805,041	58,944	7.9

その他未処分利益 剰余金変動額 (※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 15,538,507	1,321,239	7.8	△ 16,330,684	△ 792,177	△ 5.1	△ 19,444,902	△ 3,114,218	△ 19.1
-----------------------	--------------	-----------	-----	--------------	-----------	-------	--------------	-------------	--------

5 決算総括表

(令和6年度決算)

(税込み)

(1) 予算執行状況

(単位:円)

ア 収入

科目	予算額	決算額	増△減
1.収益的収入	39,423,825,000	37,486,412,296	△ 1,937,412,704
2.資本的収入	7,462,708,000	4,178,814,666	△ 3,283,893,334
合計	46,886,533,000	41,665,226,962	△ 5,221,306,038

イ 支出

科目	予算額	決算額	増△減
1.収益的支出	41,712,621,000	40,562,643,718	△ 1,149,977,282
2.資本的支出	10,237,309,700	6,920,757,556	△ 3,316,552,144
合計	51,949,930,700	47,483,401,274	△ 4,466,529,426

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支

区分	収入	支出	収支差引(A)
収益的収支	37,486,412,296	40,562,643,718	△ 3,076,231,422

イ 資本的収支

区分	収入	支出	収支差引(B)
資本的収支	4,178,814,666	6,920,757,556	△ 2,741,942,890

(3) 収支差引不足額に対する財源措置の状況

項目	金額	内訳
①当年度分損益勘定留保資金	1,892,983,915	減価償却費 2,935,536,330 過年度損益修正損 14,821,361 固定資産除却費 54,261,777 退職給付引当金 218,358,400 退職給付引当金戻入益 △ 3,456,720 長期前受金戻入 △ 1,326,537,233
②繰越工事資金	96,020,000	過年度繰越工事資金 262,320,000 翌年度繰越工事資金 △ 166,300,000
③当年度未発行企業債	169,225,482	
④貯蔵品仮払消費税仕入控除額	△ 28,067,335	
合計 (C)	2,130,162,062	
収支差引額に対する財源過不足額 (A) + (B) + (C)	△ 3,688,012,250	収益的収支(A) △ 3,076,231,422 資本的収支(B) △ 2,741,942,890 補填財源等(C) 2,130,162,062

(4) 累積財源過不足額

前年度末財源余剰額	6,660,842,887
当年度末財源余剰額	2,972,830,637

6 財政健全化法における資金不足比率の状況

資金不足比率	経営健全化基準
— (資金不足となっていない)	20%

令和6年度 川崎市病院事業会計決算（見込）の概況

○ 決算見込みのポイント

◎病院事業全体（市立3病院計）の経常損益は、診療収益が増加した一方で、人件費の上昇や物価の高騰などに伴い費用が大幅に増加したことにより、32億9,518万円の経常損失となりました。また、病院事業全体の純損益は、31億1,422万円の純損失となりました。

市立3病院の経営成績（税抜き）

（単位：円）

科 目	川崎病院	井田病院	多摩病院※	病院事業合計
総収益	24,820,797,846	10,326,891,516	2,181,174,275	37,328,863,637
医業収益	22,054,903,525	8,271,663,835	1,103,954,291	31,430,521,651
医業外収益	2,722,207,220	1,987,684,621	705,179,382	5,415,071,223
特別利益	43,687,101	67,543,060	372,040,602	483,270,763
総費用	26,897,346,595	12,169,601,905	1,376,133,118	40,443,081,618
医業費用	25,384,159,886	11,578,146,520	1,139,540,148	38,101,846,554
医業外費用	1,251,359,046	565,128,921	222,439,787	2,038,927,754
特別損失	261,827,663	23,326,464	14,153,183	302,307,310
経常損益	△ 1,858,408,187	△ 1,883,926,985	447,153,738	△ 3,295,181,434
純損益	△ 2,076,548,749	△ 1,842,710,389	805,041,157	△ 3,114,217,981

※多摩病院は利用料金制を適用しているため、多摩病院の診療収益等は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

○ 患者状況・診療収益状況

◎川崎病院では、外来患者延人数は減少しましたが、入院患者延人数の増加や診療単価の上昇により、入院、外来ともに収益が増加しました。

◎井田病院では、外来患者延人数が減少したことにより外来収益は減少しましたが、入院患者延人数の増加や診療単価の上昇により、入院収益は増加しました。

◎多摩病院では、入院、外来ともに患者延人数及び収益が増加しました。

	入院患者延人数	外来患者延人数
川崎病院	175,617人（+5,527人）	294,384人（△5,976人）
井田病院	102,968人（+5,639人）	128,324人（△11,660人）
多摩病院	108,790人（+8,767人）	212,605人（+14,474人）

	入院患者実人数	1人平均入院日数
川崎病院	14,243人（+270人）	12.3日（+0.1日）
井田病院	6,116人（+231人）	16.8日（+0.3日）
多摩病院	9,447人（+815人）	11.5日（△0.1日）

	入院収益（税抜き）	外来収益（税抜き）
川崎病院	142億2,099万円（+6億517万円）	63億9,238万円（+2億2,463万円）
井田病院	53億3,980万円（+3億9,893万円）	23億9,772万円（△2億4,657万円）
多摩病院	71億9,901万円（+6億2,499万円）	32億898万円（+2億2,559万円）

※（ ）は前年度比較

○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、「川崎市立病院中期経営計画 2024-2027」に基づき、公立病院として地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供し、更なる経営改革と経営健全化を図りながら、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策を推進し、地域医療機関との連携を進めるなど、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

人口減少や少子高齢化の急速な進展により、持続可能な地域医療提供体制を確保することが地域において一層重要な課題となっている一方、病院の経営は、収入の根幹である診療報酬が物価高騰や人件費上昇に見合ったものになっていない中でも、コロナ禍後の社会変容による医療需要の変化、医療提供主体の病院から地域診療所や在宅への移行という受療動向の変化、医療の高度化といった病院経営に係る環境の急激な変化等への対応が求められるなど、非常に厳しい状況にあります。また、医師の働き方改革や、医療従事者の確保、情報セキュリティの強化等、様々な課題への対応も求められています。

(川崎病院)

川崎病院においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。また、増加する救急搬送やがん等の医療需要に対する医療機能の拡充や防災機能の強化等を目的とする川崎病院医療機能再編整備については、令和5年11月に着手した救命救急センター棟の新築工事を引き続き進めているところです。

(井田病院)

井田病院においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療等を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組を進めるとともに、地域医療支援病院として、地域医療連携の取組を進めています。

(多摩病院)

多摩病院においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

○ 主な建設改良

◎川崎病院では、救命救急センター棟新築工事のほか、照明設備改修工事等を実施しました。井田病院では、ナースコール設備改修工事を実施しました。

◎医療器械については、川崎病院と井田病院で、内視鏡下手術支援ロボット装置の更新等を行いました。

【問合せ先】 川崎市 病院局 経営企画室 経理担当 佐藤
電話 044-200-3855

令和6年度 川崎市病院事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位 : 円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	税抜処理後純損益	前年度繰越損益	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処理損益
病院事業会計	予 算 現 額	39,423,825,000	41,712,621,000	△ 2,288,796,000	-	-	-	-
	決 算 額	37,486,412,296	40,562,643,718	△ 3,076,231,422	△ 3,114,217,981	△ 16,330,684,273	-	△ 19,444,902,254
	執 行 率	95.1	97.2	-	-	-	-	-

(資本的収支)

(単位 : 円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	補 填 財 源 等				再 差 引	備 考
					繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前 年 度 財源充当額	そ の 他		
病院事業会計	予 算 現 額	7,462,708,000	10,237,309,700	△ 2,774,601,700	-	2,749,895,700	-	24,706,000	-	
	決 算 額	4,178,814,666	6,920,757,556	△ 2,741,942,890	△ 166,300,000	2,466,778,184	262,320,000	179,144,706	-	
	執 行 率	56.0	67.6	-	-	-	-	-	-	

令和6年度 病院事業会計決算（見込）のポイント（税抜き）

<病院事業全体>

		令和6年度決算 (見込)	令和5年度決算	増 △減額	増 △減率	備 考
1 収益的収入		373億2,900万円	362億 600万円	11億2,300万円	3.1%	
主な 収入	入院収益	195億6,100万円	185億5,700万円	10億 400万円	5.4%	患者延人数の増加による川崎病院及び井田病院の増
	外来収益	87億9,000万円	88億1,200万円	△2,200万円	△0.2%	患者延人数の減少による井田病院の減
	他会計繰入金	59億4,600万円	58億2,700万円	1億1,900万円	2.0%	一般会計繰入金の増
2 収益的支出		404億4,300万円	369億9,800万円	34億4,500万円	9.3%	
主な 支出	給与費	187億3,100万円	166億2,900万円	21億 200万円	12.6%	給与改定、職員数増などに伴う給料・手当等の増、退職給付費の増
	材料費	84億7,500万円	79億5,500万円	5億2,000万円	6.5%	診療材料費、薬品費等の増
	経 費	78億3,500万円	74億 600万円	4億2,900万円	5.8%	委託料、修繕費、交付金等の増
3 経常損益		△32億9,500万円	△12億 800万円	△20億8,700万円	△172.8%	
内訳	川崎病院	△18億5,800万円	△400万円	△18億5,400万円	△46,350.0%	
	井田病院	△18億8,400万円	△15億8,700万円	△2億9,700万円	△18.7%	
	多摩病院	4億4,700万円	3億8,300万円	6,400万円	16.7%	
4 純損益		△31億1,400万円	△7億9,200万円	△23億2,200万円	△293.2%	
内訳	川崎病院	△20億7,700万円	△7,800万円	△19億9,900万円	△2,562.8%	
	井田病院	△18億4,200万円	△14億6,000万円	△3億8,200万円	△26.2%	
	多摩病院	8億 500万円	7億4,600万円	5,900万円	7.9%	

(注) 増△減率が正の場合、収支は改善している。負の場合、収支は悪化している。

5 資金不足比率	— (資金不足となっていない)	— (資金不足となっていない)			参考：財政健全化法における経営健全化基準 20%
-----------------	--------------------	--------------------	--	--	--------------------------

※ 金額については百万円未満を四捨五入（一部、端数調整有り）

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入